



令和2年8月3日

千歳北陽通信

北海道千歳北陽高等学校
発行責任者 校長 渡邊 祐美子

第2号 (通算22号)

文責 屋敷宗寿

★ 千歳北陽高校Withコロナ 校長 渡邊 祐美子

令和2年度も8月1日から夏季休業となります。4月の始業式、入学式から51日、学校再開から43日が終了しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より20日間ほど少ない日数です。

学校再開後、各ご家庭においてはお子様の健康観察・健康管理の徹底に努めていただくとともに、学校においては生徒、教職員ともに検温、手洗いやマスクの着用、三密を避けるための様々な制約の中で学習に取り組んできました。さらに、教職員は毎日、生徒の下校後、机や椅子、教室やトイレのドアノブなどの消毒を実施するなどして、感染防止に努めてきました。一人一人の日々の努力で、何事もなく夏休みを迎えることができましたことに心から安堵し、感謝申し上げます。

これまで学校は、教師と生徒、生徒同士の距離を近づけ、心を一つにして学び合い、成長しあう場として機能してきました。しかし、新型コロナウイルスは、人と人との接触「三密」を極力避けることを基本的な生活スタイルとし、これまでの学校の在り方を否定するかのよう状況が生じています。その結果、生徒や教職員の生命・安全を守る観点から、授業形態や学校行事、部活動等が大きく制限され、生徒にとっては日々、座学だけの無味乾燥な学校生活になっています。

そのような中、放送局が担当する屋の放送で、新型コロナウイルス感染予防のための呼びかけが行われています。毎日の北海道内の感染者状況に加え、「合言葉は“あいてますか”、“あい”だを空けて、“て”を洗おう、“ます”くをしよう、“か”ん気をしよう」と毎日流れるこのメッセージが一服の清涼感をもたらしてくれています。生徒会執行部が中心となり、感染防止に向けた啓発のために自分たちができることをしようという発想で始まりました。高校生らしい素晴らしい取組であり、頼もしい限りです。

明日から夏休み、今年は16日間という短い期間ですが、生徒の皆さんは心身のリフレッシュを図り、秋以降の学校生活に向けてパワーの充電に努めてください。特に3年生は、進路決定の重要な時期を迎えます。自分自身と、これからの人生としっかり向き合って、悔いのない選択をしてください。

また、毎年、夏休み中に高校生が交通事故や海水浴中の事故で命を落とす悲しいニュースを耳にします。事故、ケガ、新型コロナウイルス感染をはじめとする病気に罹ることがないように、十分に気をつけて過ごしてください。8月17日、皆さんの元気な笑顔に会えることを願っています。

8・9月の主な行事

- 8月 1日(土) 夏季休業開始
- 3日(月) 進学講習Ⅱ (～7日まで)
- 11日(火) ～14日(金) 学校閉庁日
- 17日(月) 授業開始、身だしなみ確認
- 19日(水) 基礎学力診断テスト(1・2年生)
- 31日(月) 胸部X線撮影・心電図検査(1年生)
- 9月 1日(火) 北海道シェイクアウト(秋季避難訓練)
- 2日(水) 前期末考査(～4日まで)
- 16日(水) 携帯電話安全教室(1年生)
- 24日(木) マイナビ未来ビュー(1年生)



花壇づくりに参加して



1年3組 森川しづきさん(勇舞中出身)

6月9日(火)に、1年3組全員で花壇整備を行いました。各グループに分かれて花壇の担当場所を決め、自分たちで花の色を考えたり、花を植える場所を考えたりできたので楽しかったです。また、臨時休業があり、あまり話したことがないクラスの人と話すことができ、少しですがクラスに友達が増えたと思います。外は暑くて疲れましたが、楽しい経験になりました。花があるだけで学校の雰囲気が変わったので花壇整備の授業があって良かったです。これから毎日登校したときに自分たちが植えた花の様子を楽しみにしたいと思います。



【緊急メールアドレス】

学校閉庁日・休業日緊急連絡メール：713517-kinkyu@ml.hokkaido-c.ed.jp

企業から支援が届きました！6月12日1年生へ配布



江崎グリコ株式会社様より、1年生対象に「わごころブリッツ（トウモロコシ）」の寄付がありました。

この寄付は「大きな一歩を踏み出した新入生に、故郷北海道の美味しさで、少しでも元気で前向きな気持ちになって欲しい」という趣旨で、道立高校1年生に寄付されたものです。

江崎グリコ株式会社 創業1922年（大正11年）2月
本社 大阪府大阪市西淀川区 事業内容 菓子・食品販売

令和2年度 交通安全教室を行いました

7月29日 本校体育館で学年別「交通安全教室」を日本自動車連盟 日下部様を招き講話をいただきました。夏休みを前に自転車や歩行者の安全対策について学びました

1年1組 田中 桃子さん(富丘中出身)

交通安全の話聞く前、高校生にもなって、なぜ聞かないといけないのだろうと思っていました。でも、講話を聞いてみると交通事故は運転者だけの責任ではなく、歩いている歩行者にも責任があるということを知りました。それに、道路を渡る時にも、車が横から飛び出してこないかを気に掛けることや、ながらスマホをしている人が八割以上いること、信号機のない歩道では、人が優先されるのに、止まらない車が約八割くらいいることなど、危険な行為をしている運転者が多いことを知りました。

夜間の服装の実験の画像を見たときに、黒色はもちろん青色の服など暗い色は、遠くから見たらそこに人がいるのかさえも分からないことや、反対に白色や反射板を身につけた人は、暗くてもそこに人がいることが分かりました。

交通事故の数は減少していることやルールを守ることで事故には遭いにくくなること、信号が青でも周りを気にして通行しないといけないこと、ドライバーの目線や周囲を予測して行動をするなどを努力したいです。

これからの高校生活は、通学や普段の生活から交通ルールに気をつけながら、生活したいと思います。

2年4組 尾崎 あかりさん(長沼中出身)

私は今日の講習を受け、今までの交通ルールについて見直すことができました。普段見ることのできない運転手側からの視点での歩行者の行動は思っていたよりも危険であることに驚きました。ながらスマホやイヤホンをつけた上での歩行は気をつけたいと思いました。

他にも、信号の無い交差点では、歩行者の見える範囲だけではなく、運転手の目線を見たりなどの歩行者側の確認も必要であることがとても勉強になりました。さらに、夜の自転車での歩行でもライトや反射板をつけたり、目立つ明るい服を着るなど歩行者の見せる努力も大切なことだと知りました。このような努力を身につけて、交通事故を少しでも防げるように頑張りたいです。さらに、死傷者も減ってほしいと思います。

交通安全について、日ごろ何気なく使っている自転車にもルールやマナーがあり、改めて知ったことや意外と守られていないものもあり、この講習を機に色々なことに気づくことができました。



3年生進路別ガイダンスを振り返って

7月10・17日の2週2日間に渡って3学年進路別ガイダンスを開催しました。終了後には、それぞれの分野ごとに振り返りを行いました。

そこで、今回は生徒たちがガイダンスを通じて学んだことや今後の進路活動への意気込みなどの感想をご覧ください。

進学 3年1組 澁谷 日菜乃さん(恵庭中出身)

進学したい学校以外、興味を持たず調べもしてきませんでした。しかし、今回の進学相談会に参加し、多くの学校の説明を通じてそれぞれの学校の魅力を感じることができ、オープンキャンパスに参加してみようと思えるよききっかけとなりました。

特に、同じ分野の学校でも、授業内容や施設・設備の違い、行事や学費といったものも差異があることを知ることができ、本当に充実したガイダンスでした。



就職 3年2組 北山 大騎くん(大曲中出身)

私が進路別ガイダンスを通じて身になったことは、履歴書の書き方についてです。ノートに書く文字の大きさやバランスなど、ほとんど意識することがなかったのですが、今回のガイダンスで自らの文字の乱雑さに気がつきました。

これから希望する就職先が決定したら本格的に履歴書を書くこととなります。企業の方に読んでいただく大事な書類なので、日頃から丁寧に美しく文字を書くクセを付けていきたいです。



自衛官 3年4組 岩淵 颯くん(千歳中出身)

私は、自衛官を目指しているため自衛官コースのガイダンスを受講しました。そのガイダンスを通じて、自衛官のイメージや自衛隊の仕組みを誤解していたことに気がつきました。

担当官の先生のお話しでは、自衛官候補生の試験が大きく変わるとお聞きしましたので、勉強に励むとともに健康管理に努めて受験に臨みたいと思います。



子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

- 電話相談 0120-3882-56 (無料、毎日24時間対応)
- メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
- 来所相談 ※10:00~16:00 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階 子ども相談支援センター

お問い合わせ 千歳市北陽2丁目10番53号 電話0123-24-2818

ホームページアドレス <http://www.chitosehokuyou.hokkaido-c.ed.jp/>